

# 1月の県内景況は、前月に比べ悪化。 年末の需要増の反動、また、年始休暇や降雪 等の影響を受け一部業種で低調に推移した。

情報連絡員による平成29年1月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は10.5%（前月比-9.1）となっており、「横這い」は42.1%（同+12.7）、「低調」とするところが47.4%（同-3.6）、業界全体の「景況感DI」は-36.8%（同-5.4）となっています。

## 1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「雇用人員」の項目のみ、前月と比較して好転しています。

## 2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、「快晴」または「晴れ」の業界はなく、食料品製造業、木材木製品製造業、鉄工機械製造業、卸売業、商店街、サービス業、建設業が「曇り」または「薄曇」、その他の業種は「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が、17.5%（前月比+7.7）と増加しております（好転の回答0件、やや好転の回答10件）（製造業3、非製造業7）。同様に、変わらないが、59.6%（前月比+10.6）と増加しております。一方で、やや悪化、悪化の見込みは、22.9%（前月比-18.3）と減少しております。

平成29年1月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率95.0%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	-57.14	-42.86	0.00	0.00	-14.29	0.00	-28.57	0.00	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29
繊維製品製造	33.33	-66.67	0.00	-33.33	33.33	-66.67	0.00	-33.33	0.00	-33.33	0.00	-33.33
木材木製品製造	-50.00	25.00	25.00	25.00	-50.00	0.00	-50.00	-25.00	0.00	0.00	-25.00	0.00
鉄工機械製造	40.00	-20.00	0.00	0.00	20.00	-20.00	-20.00	-20.00	0.00	-40.00	-40.00	-20.00
その他の製造	-100.00	-85.71	0.00	0.00	-42.86	-57.14	-14.29	-14.29	-28.57	-14.29	-42.86	-28.57
卸売業	-25.00	-50.00	-25.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	-25.00	0.00	0.00	-25.00	0.00
小売業	-66.67	-22.22	0.00	0.00	-22.22	-55.56	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-22.22	-44.44
商店街	25.00	0.00	-25.00	0.00	-25.00	-25.00	-25.00	0.00	0.00	0.00	-50.00	-25.00
サービス業	-50.00	-16.67	-16.67	16.67	-50.00	-33.33	-33.33	-16.67	0.00	0.00	-33.33	-16.67
建設業	-20.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
運輸業	-66.67	33.33	0.00	0.00	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-66.67	-33.33	-33.33

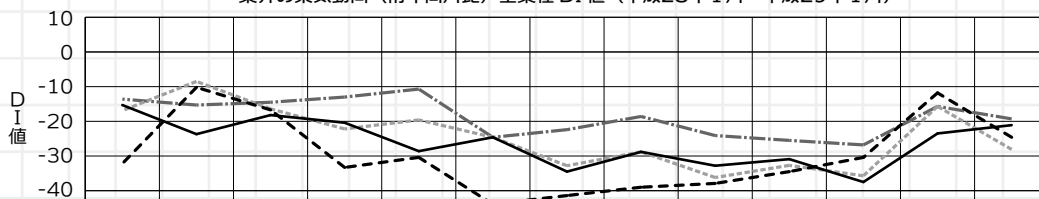
### 天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

### D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすぐもり -10~10未満
- くもり -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成28年1月~平成29年1月）



— 業界の景況  
- - - 売上高  
... 収益状況  
- · - 資金繰り

	平成28年1月	平成28年2月	平成28年3月	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月
業界の景況	-15.3	-23.7	-18.2	-20.4	-28.6	-24.6	-34.5	-28.8	-32.8	-30.9	-37.5	-23.5	-21.1
売上高	-32.2	-10.2	-16.7	-33.3	-30.4	-43.9	-41.4	-39.0	-37.9	-34.5	-30.4	-11.8	-24.6
収益状況	-16.9	-8.5	-16.4	-22.2	-19.6	-24.6	-32.8	-28.8	-36.2	-32.7	-35.7	-15.7	-28.1
資金繰り	-13.6	-15.3	-14.5	-13.0	-10.7	-24.6	-22.4	-18.6	-24.1	-25.5	-26.8	-15.7	-19.3

## 食料品製造業

### <漬物>

為替の変動が著しく変化しており、輸入品の仕入価格が安定せず困っている。また、国内の野菜価格も農家の高齢化と異常気象により、高値が続き、安定しない状況が続いている。今後、漬物業界の原料仕入れが益々厳しくなると思われる。日本国の食糧自給率も心配である。

### <味噌醤油>

味噌醤油の出荷量は震災前と比較し、味噌が29.0%減、醤油は41.5%減と激減した。直近2年間で味噌が9.8%、醤油が6.0%と減少し、厳しい状況が続いている。海外依存の高い原料については、為替の影響により価格がやや上昇気味。また、国産大豆については天候不順などの影響により不作となり、原料不足が懸念されている。

### <菓子>

2月はバレンタインデーなどの行事があるが、なかなか売上には結びつかないのではと思われる。3月から繁忙期に入るが、あまり期待はできないようだ。

### <酒造>

吟醸系(吟醸、純米吟醸)は伸びているが、純米、本醸造、普通酒が落ちている。2月は新酒が多く出回る時期で、出荷増を期待している。海外からのインバウンド観光ツアーが福島県産食材を敬遠していると聞き、安心安全のPRを行政へ要望したい。

### <食品団地>

今月も原油価格が少しずつ上がり始めている。消費についても停滞気味は変わらない状況のため、地域に根付いた商品展開が重要となっている。今後も円安・減産等による原油価格の高騰等、収益に影響が出てくる見通しで難しい状況が続いている。

## 縫製品・同製品製造業

### <ニット>

前年と比べると春夏物の受注が少なく心配である。

### <縫製品>

例年の動きとは異なり、繁忙期でありながら先行き不透明である。

## 木材・木製品製造業

### <製材業>

例年1月に入ると需給が緩み、丸太価格が軟化してくるが、今年は旺盛な需要が続いていることから、一段の高値となっている。しかし、製材品は県外需要が依然好調ではあるものの、県内の需要は地元工務店を中心に一服感が見られ、丸太高を製品価格へ転嫁することが難しく、コスト高となっている。

### <外材輸入>

先月に引き続き、製材品の荷動きは順調に推移している。しかし、産地価格は上昇傾向にあり、加えて、為替円安の影響もあるためコスト高が見込まれ、今後の展開が心配である。

## 紙・紙加工品

### <紙器・段ボール箱>

県内の経済においては、緩やかな回復基調と報告されているが、紙器・段ボール箱、印刷紙器、貼箱業界においては、そうした回復基調は残念ながら実感できない現状にある。売上高を前年並みに維持できた業界があっても、利益率は下方傾向にあることは否めなかった。

## 印刷

### <印刷業>

復興需要のピークアウトにより競争が激化してい

る。好転の兆しが見える時もあるが、売上確保、収益とも苦戦している。

## 窯業・土石製品製造業

### <碎石>

(県北地区)

1. 当月売上数量 前月比 約25%減
2. " 昨年同月比 約35%減
3. 本年度売上数量 昨年対比 約30%減
4. 原因・現状

年休休暇と降雪等の影響により、工事作業日が少なく、出荷量が減少した。

### <生コン>

平成29年1月の組合員生コン出荷数量は、108,090m<sup>3</sup>と対前年同月比14.2%減。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比19.2%減、官公需が23.4%減であった。

#### ○民需の動向

対前年同月比 19.2%減

対前年同月比増加地区

<相双地区> 5.0%増 第一原発固体廃棄物貯蔵庫、ロックウール生産工場建設工事等

<会津地区> 3.9%増 マンション、老人福祉施設建設工事等

対前年同月比減少地区

<県北地区> 41.2%減 市内総合病院新築工事等

<県中地区> 39.0%減 郡山駅東口改築工事、郡山スマートインター工事等

<白河地区> 33.7%減 工場倉庫増築工事等

<いわき地区> 7.1%減 ショッピングモール新設工事、小名浜SS(セメント基地)建設工事等

#### ○官公需の動向

対前年同月比 23.4%減

対前年同月比増加地区

<白河地区> 105.5%増 ひらた清風中体育館建設、釜子小学校プール工事等

対前年同月比減少地区

<県北地区> 29.5%減 県立医大手術棟新築工事、東北中央道高架橋工事等

<県中地区> 18.0%減 西部第一工場団地造成工事、三森1号トンネル舗装工事等

<いわき地区> 28.7%減 港湾災害復旧、市内共立病院新築工事等

<相双地区> 25.5%減 廃炉国際共同研究センター建設、海岸線復旧、漁港復旧工事等

<会津地区> 23.9%減 河東学園中学校新築工事、城前団地工事等

### <各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、売上高が前月比で、1.8倍と先月の低調さをやや取り戻した取引となるも、前年同月比においては51.0%減と依然低調な状態である。累計においても、前年比39.0%減と回復の兆しが見えない状況が続いたままである。

### <漆器>

年末年始商戦は低調だった。都市部の百貨店も来客数が少ない。一方で、昨年5月より開始したふるさと納税の返礼品受注は7ヶ月間で約200件と大変好調だった。新年度は、返礼品の金額の幅が広がる見込みなのでさらに期待したい。

## 卸売業

### <卸売業>

(県中地区)

1月期は、全体的に目立った動きはない。事務用品関係では、最近では光熱費などの削減を図るためかLED照明の売上が伸びてきている。また、セキュリティに関する意識が高まっていることから事務所内で

使用する監視カメラの売上げも順調。さらに、事務作業を効率的に行うため、体に負担が掛からない仕掛けを施した新製品（機）が開発され関心を集めている。人手不足については、業種によるバラツキがあるが、相変わらず改善されてはいない。折角、採用しても着しないケースがしばしば見受けられる。

#### <再生資源>

1月は大雪にみまわれ、古紙の回収量は減少、価格は輸出向けは市況も上げ止まった様子である。鉄スクラップ価格は昨年より高値が続いているが、トランプ発言で乱高下しており、市場は先読みが不透明な状況である。

## 小売業

#### <共同店舗>

(Oショッピングセンター)

売上、物販で1割以上の伸び、飲食で前年並み、全体でも1割弱の伸びであった。物販店での販売戦略が結果を出した。客数が前年並みであるため、客数を伸ばす企画を練りたい。次月、吊るし雛展示会で売上客数の相乗効果を期待する。

(Nショッピングセンター)

販売不振の改善が必要である。また、大型ドラッグチェーン開店の動向を注視していく必要もある。

#### <石油>

昨年末より引き続き、元売仕切価格が上昇した。特に灯油においては、大型寒波の影響により在庫薄となったことも重なり、価格が大幅に上昇している。

#### <青果>

昨年末から引き続き、野菜単価が高騰となった。年明けは、暖冬の影響で生育の遅れや品不足も懸念されたが、積雪も徐々に増え、今後はある程度安定した取引が期待できそうである。

#### <家電>

冬物品の販売が落ち込んでいる。地域・販売店にも格差が出ている。

## 商店街

#### <郡山市>

1月は、大雪と厳寒に見舞われた日があったが、それ以外の日は概ね好調であった。ただ、増えているという実感はなかなかなく、来街者数としては横ばいに近いのではないかと思われる。2月には、駅前で長年空き店舗だった丸井の跡地にホテルがオープンする。郡山も郊外型ホテルが多くなったが、駅前型ホテルとして中心市街地にプラスになってくれればと願う。

#### <南相馬市>

1月は、中心商店街のイベントも少なく低調であった。気になる点としては、防犯上の問題もあって商店街は全体的に閉店時間が早く、午後6時にはシャッター通りとなってしまう点が挙げられる。イベントの担い手も高齢化しており難しい時期に入っている。

#### <会津若松市>

初売りはあまり動きがなかったが、恒例の十日市は晴天に恵まれ人出が多く来客数、売上げともに昨年より増加した。その後、悪天候が続くと比例して客数も減り、売上げが停滞した。季節商品のセールに期待したい。

#### <いわき市>

暖かい正月を迎えたが、街なかの初売りには、まばらなお客様。休みが短いので、元旦営業の郊外ショッピングセンターは賑わい、初売りのスタートが揃わない商店街へは足が向かない。それでも10日過ぎからは、冬物セールなどでご年配の顧客を中心に買い物の動きが出て、全体的には前年並みの気配。1月末の恒例のチャリティーセールは今年が最終回となった。来年はますます来街者が減ると思われる。

## サービス業

#### <旅館業>

(土湯温泉)

地区内において、「観光まちづくりをすすめるための考え方とその手法」、「誰もが行ってみたいと思うまちをつくるには？」というテーマに基づいて、2名の講師を招いて研修会を開催した。両研修会で言えることは、旅館があつての観光ではなく、街があつての観光であるということであった。私どものような旅館業を営む組合員は、自分の旅館の環境づくりも大事であるが、地域のあらゆる観光まちづくり素材と協働連携を図り、互いがWinWinの関係になることが、持続的な観光地づくりのために求められる。

#### <理容業>

仕事始めから、4、5日は年末に来店できなかったお客様が来店したために忙しかった。しかし、その後は例年通りの状況だった。年末に調髪したお客様は1月にはまだ来店されない。冬場は来店店の周期が延びるため1月、2月は厳しい時期となる。

#### <美容業>

各施設のターゲット客層により、好調差が現れた模様。この寒い期間は、東北地方で商売するものの宿命なのか、やはり寒さの影響は、避けて通れない問題のよう。売上げ増加に向けての対策が大切な時期であるため、消費者のニーズ等の分析を行っていききたい。

#### <一般廃棄物収集運搬>

通常業務については前月実績でほぼ同額の売り上げで推移している。10月からスタートした震災関連事業は、現在のところ安定していると思われる。産業廃棄物に関しては、依然として排出量は震災前の水準には届かず、しばらくは増加することはないと思われる。雇用については、組合員各社でも人材の確保については苦慮している。

## 建設業

#### <建設業>

(県北地区)

平成28年度、県の公共事業費(当初予算ベース)の推移は、災害復旧費が対前年度比で約44.3%減の590億円で、復興公営住宅や農業基盤整備など復興関連費が対前年度比で約24.2%増の1,844億円であることから、対前年度比(3月末)では約9.5%減の総額2,435億円となる見込み。

(県南地区)

建築工事が大幅に減少したままで、新規の計画の見通しも良くなく、急激に悪化している。土木工事も全体的に低調で売上が減少しており、震災前のように、低価格入札で競わなければ受注ができにくくなっている。除染は、道路、森林、水路などが残っているが、規模が小さい。

#### <管工事>

前月比で、給水・排水設備申請とも減少した。一方、前年同月累計対比では、給水申請が増加し、排水申請が減少している。

#### <専門工事>

降雪の少ない年明けになったものの、会津地方・県北地方は中旬から降雪に恵まれた。降った日数が短いのと強い寒気の影響で瞬間的には大雪になり、除雪体制に影響も出たが、それでも例年に比べると少ないと感じられるのは否めない。

## 運輸業

#### <トラック団地>

(県北地区)

慢性的なドライバー不足が続いており、平均年齢も上昇の一途にある。各企業では福利厚生の上など努



力しているものの、最も求められている賃金アップが  
厳しい状況にあるため、魅力的な職種ではなくなって  
しまった。一企業の努力だけでは解消は難しいが、引  
き続き適正運賃の確保に努力し魅力ある職場作りをし

ていくしかないと思われる。

<ハイヤータクシー>

降雪の影響で前年並みにはなかったが低調傾向である。

## 県政トピックス

2017.2

# 平成28年度地域復興実用化開発等促進事業費補助金 成果報告会開催のご案内

- 福島県では、福島イノベーション・コースト構想の重点分野について、地元企業等及び地元企業等との連携等による地域振興に資する実用化開発等を促進し、福島県浜通り地域の産業復興の早期実現を図るため、その経費の一部を補助しております。
- 公募の結果、ロボット、エネルギー、医学分野等、6つの重点分野から46テーマを採択し、採択事業者のプレゼンテーション・パネル展示を行い、本事業の成果を発表するとともに、採択事業者とのビジネス交流の場も設けます。
- また、平成29年度の事業説明を同日実施予定です。なお、予算成立が前提のため、変更の可能性があることをご了承ください。

### ◆日時・場所

平成29年3月23日(木) 10:30~17:00 (予定)

いわき産業創造館 6階企画展示室 (福島県いわき市平字田町120番地)

### ◆内容

- ・成果発表：10テーマ程度
- ・ポスターセッション：44テーマ
- ・平成29年度事業説明
- ・交流会

### ◆事業概要

- 補助対象分野 (重点分野)
  - ・ロボット、エネルギー、環境・リサイクル、農林水産業、環境回復、住民の健康確保につながる医学 (医療機器等) 又は廃炉・汚染水対策など放射線の知識が必要となる分野等
- 補助対象地域 (福島県浜通り地域)
  - ・“いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村” の15市町村
- 補助対象内容 (実用化開発等)
  - ・原則として福島県浜通り地域において実施される重点分野に係る研究開発や実証など実用化・事業化に向けた取組。
- 補助対象者
  - ・地元企業等、地元企業等と連携して実施する企業
- 補助率及び補助上限額
  - ・中小企業：補助対象経費10.5億円の2/3 (7億円) を補助
  - ・大企業：補助対象経費14.0億円の1/2 (7億円) を補助
  - ※補助上限額：1事業計画あたり7億円 (連携支援の場合、合計額)
- 予算額
  - ・69.7億円 ※一部、管理経費を含む

### ◆お問い合わせ先

福島県 商工労働部 産業創出課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16 (県庁西庁舎10階)

電話：024-521-7283 FAX：024-521-7932

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32021b/> (産業創出課HP)